

## 2. リモコンのサービス機能について

リモコンには、各種サービス機能があります。試運転、点検時等、必要に応じてご利用ください。

サービス機能一覧表

機能	機能概略	ボタン操作	復帰操作	ユニットの状態
試運転	強制サーモONで運転	[点検] ボタンを4秒以上押す		運転状態を維持
センサー温度表示	各種センサーの温度表示	[点検] + [取消] ボタンを同時に4秒以上押す		
サービスチェック表示	警報履歴の表示	[点検] + [セット] ボタンを同時に4秒以上押す		
簡単設定	フィルタ寿命、運転モード優先、集中制御アドレス等の設定	[点検] + [換気] ボタンを同時に4秒以上押す	[点検] ボタンを押す	設定中のリモコンが接続されている室内ユニットが停止
詳細設定	システムアドレス、室内ユニットアドレス、集中制御アドレス等の設定	[点検] + [取消] + [セット] ボタンを同時に4秒以上押す		
自動アドレス	ワイヤードリモコンからの指示による自動アドレス	[点検] + タイマー運転 [ ] ボタンを同時に4秒以上押す	自動復帰	全システムが停止
アドレス変更	室内ユニットアドレスの変更	[点検] + タイマー運転 [ ] ボタンを同時に4秒以上押す	[点検] ボタンを押す	

### 試運転機能

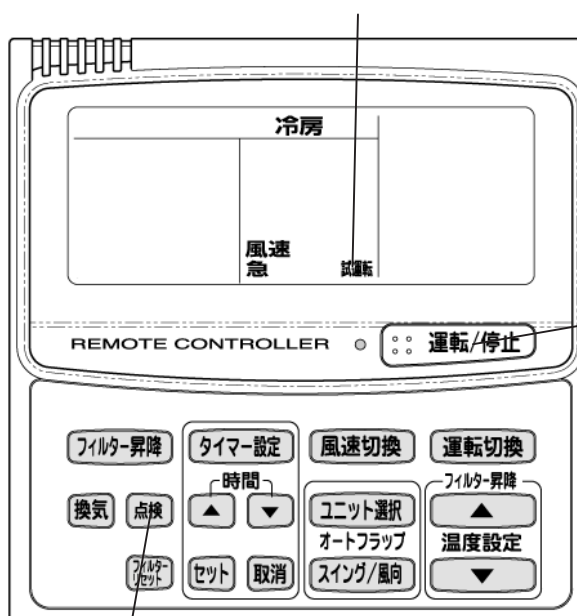
強制サーモON状態にて運転させます。

#### 操作手順

[点検] ボタンを4秒以上押し続けます。リモコンの液晶表示部に「試運転」が表示されます。(図-1)

運転操作を行います。

[点検] ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。



(図-1)

## センサー温度表示機能（運転・停止に関係なく表示します。）

下記の確認方法により、リモコン、室内ユニット、室外ユニットの各センサー温度をリモコンに表示します。

### 確認方法の手順

**取消** + **点検** ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。

リモコンの液晶表示部に、ユニット X - X(親機) 項目コードXX(センサーアドレス) サービスモニター00XX(センサー温度)が表示されます。

(図-2)

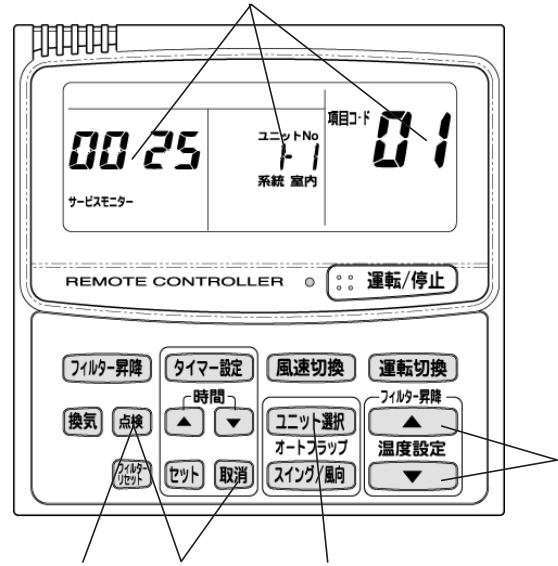
温度設定  /  ボタンを押して項目コードをモニターしたいセンサーアドレスに変更します。

(センサーアドレスとセンサーの種類の関連については下記のセンサー温度対照表を参照してください。) **グループ制御及び同時運転マルチの時は** **ユニット選択** ボタンを押してモニターしたいユニットに変更します。

**点検** ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。

注意 ・接続されていないユニットの温度表示は、“ - - - - ”となります。

通常運転中に、モニターモードに切替た場合、液晶表示が変わるのは(図-2)に示す部分のみです。他の表示は通常運転中の表示のまま変わりません。



(図-2): 1 - 1ユニットのリモコンセンサー温度25 の場合の表示例

## センサー温度対照表

センサー取付場所	センサーアドレス	センサーの種類	センサーアドレス	センサーの種類
室内ユニット側	01	リモコン温度	06	室内吹出温度
	02	室内吸込温度	07	
	03	室内コイル温度(E1)	08	
	04	室内コイル温度(E2)	09	
	05	室内コイル温度(E3)		
室外ユニット側	0A	( 室外ユニットについて記載されたサービス技術資料参照 )	12	( 室外ユニットについて記載されたサービス技術資料参照 )
	0B		13	
	0C		14	
	0D		15	
	0E		16	
	0F		17	
	10		18	
11	19			

## サービスチェック機能（運転・停止に関係なく表示します。）

過去、運転中に発生した警報内容を発生順に最大4個まで記憶し、リモコンに表示します。

### 確認方法の手順

**セット** + **点検** ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。

リモコンの液晶表示部に警報の発生したユニット X - X、項目コード01、サービスチェックXXX(最新の警報内容)が表示されます。(図-3)

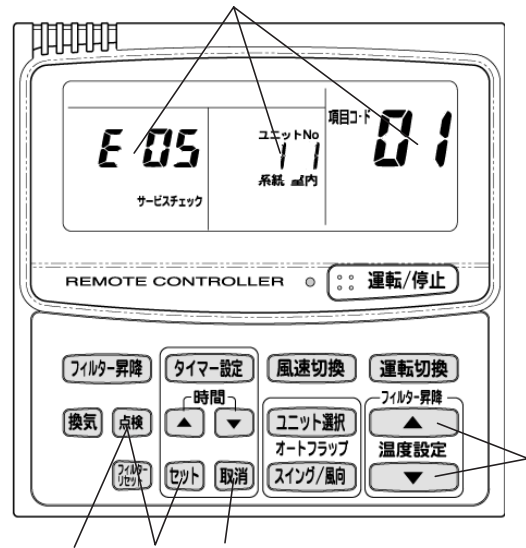
温度設定  +  ボタンを押すと過去発生した警報内容を新しい情報から順に表示します。

項目コード：01(最新) 04

確認した警報内容をリセットしたい場合は **取消** ボタンを押してください。

リモコン表示が“ - - - - ”となればリセットされています。

**点検** ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。



(図-3): ユニット 1 - 1 最新の故障内容が E05 の場合の表示例

通常運転中に、モニターモードに切替た場合、液晶表示が変わるのは(図-3)に示す部分のみです。他の表示は通常運転中の表示のまま変わりません。

## 簡単設定機能

簡単設定操作をするリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットのフィルタ寿命、運転モード優先切換、集中制御アドレス等の設定を行います。

簡単設定モードを行うと、簡単設定操作を行っているリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットが停止します。

### 操作手順

**点検** + **換気** ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。

リモコンの液晶表示部に、**設定中** とユニット 1 - 1 (グループ制御の場合はALLを表示) 項目コード01、設定データ00XXが点滅表示されます。(図-4)この時、室内ユニットのファン(グループ制御の場合は全ての室内ユニット)が回転します。

グループ制御を行っている場合は、**ユニット選択** ボタンを押して設定しようとする室内ユニットのアドレス(ユニット)を選択します。この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。

ユニット ALLの場合は全ての室内ユニットに同一の設定を行います。

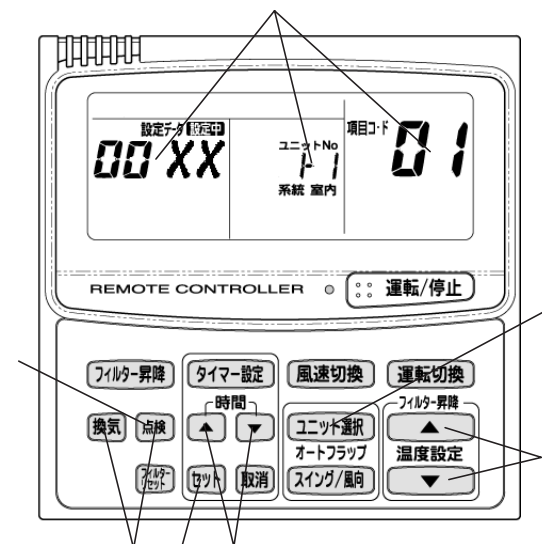
温度設定  /  ボタンを押して、設定変更する項目コードに切換えます。

タイマー時間  /  ボタンを押して、希望する設定データに切換えます。

項目コード、設定データは次ページ参照

**セット** ボタンを押す。(点滅表示が点灯に変わって設定完了)

**点検** ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。



(図-4)

簡単設定項目一覧

項目コード	項 目	設 定 デ ー タ		
		番 号	内 容	
01	フィルタサイン点灯時間 (フィルタ寿命)	0000	表示なし(出荷時は、機種別に標準値を設定)	
		0001	150時間	
		0002	2,500時間	
		0003	5,000時間	
		0004	10,000時間	
		0005	目詰まりセンサを使用	
03	集中制御アドレス	0001	集中制御アドレス1	
		0002	集中制御アドレス2	
		0003	集中制御アドレス3	
		}	}	
		0064	集中制御アドレス64	
		0099	集中制御アドレス未定(出荷時設定)	
04	運転モード優先切換	0000	通常(出荷時設定)	
		0001	優先	
05	暖房サーモOFF時風速		圧縮機ON時	圧縮機OFF時
		0000	弱風1分、微風3分 (出荷時設定)	微風(出荷時設定)
		0001	弱風	微風
		0002	微風	微風
		0004	弱風1分、微風3分	微風
		0005	弱風	弱風
		0006	微風	弱風
06	暖房時吸込温度シフト	0000	シフト無し(出荷時は、機種別に標準値を設定)	
		0001	吸込温度1deg低くシフト	
		0002	吸込温度2deg低くシフト	
		0003	吸込温度3deg低くシフト	
		0004	吸込温度4deg低くシフト	
		0005	吸込温度5deg低くシフト	
		0006	吸込温度6deg低くシフト	
07	電気ヒータ取付有無の切換	0000	ヒータ無(出荷時設定)	
		0001	ヒータ有	
0F	冷専	0000	通常	
		0001	冷専(項目コード0D「1」に設定してください)	

## 詳細設定機能

詳細設定操作をするリモコンが接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットの系統アドレス、室内ユニットアドレス等の設定を行います。  
 詳細設定モードを行うと、簡単設定操作を行っているリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットが停止します。  
 簡単設定の項目も設定できます。

**セット** ボタンを押す。(点滅表示が点灯に変わって設定完了)

**点検** ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。

### 操作手順

**点検** + **セット** + **取消** ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。

リモコンの液晶表示部に、**設定中** とユニット 1・1 (グループ制御の場合はALLを表示)、項目コード 10、設定データ 00XX が点滅表示されます。

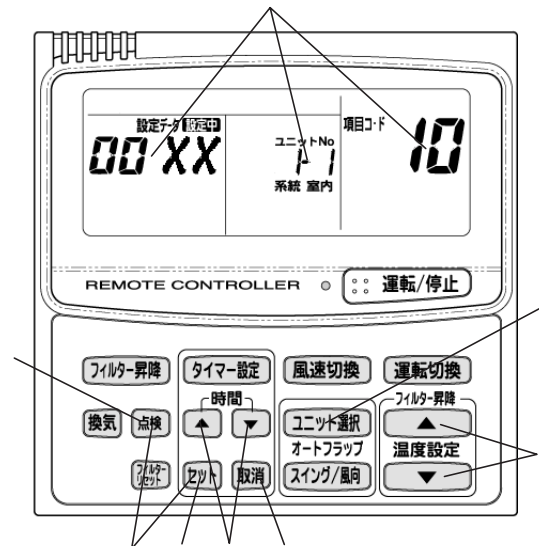
(図-5)この時、室内ユニットのファン(グループ制御の場合は全ての室内ユニット)が回転します。  
 グループ制御を行っている場合は、**ユニット選択** ボタンを押して設定しようとする室内ユニットのアドレス(ユニット)を選択します。この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。

ユニット ALLの場合は全ての室内ユニットに同一の設定を行います。

温度設定  /  ボタンを押して、設定変更する項目コードに切換えます。

タイマー時間  /  ボタンを押して、希望する設定データに切換えます。

項目コード、設定データは下記参照



(図-5)

## 詳細設定項目一覧

項目コード	項目	設定データ					
		番号	内容	番号	内容	番号	内容
10	形式	0000	SAXP	0001	SXP	0002	SSXP
		0003	SLXP	0004	BDXP	0005	BUXP
		0006	UXP	0007	TXP	0008	KXP
		0009	TKXP				
11	室内ユニット能力	0001	22	0003	28	0005	36
		0007	45	0009	56	0011	71
		0012	80	0013	90	0015	112
		0017	140	0018	160		

項目コード	項 目	設 定 デ ー タ	
		番 号	内 容
12	系統アドレス	0001	1号機
		0002	2号機
		0003	3号機
		∫	∫
		0030	30号機
13	室内ユニットアドレス	0001	1号機
		0002	2号機
		0003	3号機
		∫	∫
		0064	64号機
14	グループ制御アドレス	0000	個別(1対1:グループ配線をしていない室内ユニット)
		0001	親機(グループ制御をしている室内ユニットの内一台)
		0002	子機(グループ制御をしている室内ユニットの内親機以外)
16	強制サーモON時間	0000	5分
		0001	4分
1E	冷房吹出温度シフト	-005	-5
		-004	-4
		-003	-3
		∫	∫
		0011	-11
1E	「冷暖自動」モード時の冷暖切替温度シフト	0001	±1
		0002	±2
		0003	±3
		∫	∫
		0007	±7
2E	T10端子切替	0000	通常(別売のリレー中継基板またはJEMA標準HA端子として使用)
		0001	切り忘れ防止用として使用
2F	ドレンポンプ自動運転	0000	強制運転しない
		0001	1分間強制運転
		∫	∫
		0060	連続運転
30	さがあーるグリル操作	0000	無
		0001	リモコンからさがあーるグリル操作
31	換気扇操作	0000	無
		0001	リモコンから換気扇操作
32	ワイヤードリモコンセンサ	0000	使用せず(ボディセンサ使用)
		0001	リモコンセンサ使用
34	「運転切替管理中」表示	0000	通常(表示あり)
		0001	表示せず
35	ウィークリータイム使用時の切り忘れ機能	0000	無
		0001	停止時刻の設定のみ有効

## リモコンチェック機能

リモコンには、リモコンの異常の有無を自己診断する機能があります。

リモコン基板裏面上のソケット(4P-白)に差し込んである短絡プラグ(2P)を3-4間から2-3間に差し換えてチェックします。(図-6)

注1.短絡プラグは通常運転時は必ず3-4間に差し込んでおいてください。

2.リモコンの自己診断は図-6のように、2Pプラグ間にDC9~16Vの供給があればリモコン単品でも可能です。(途中に12・1/4Wの抵抗が必要です。)

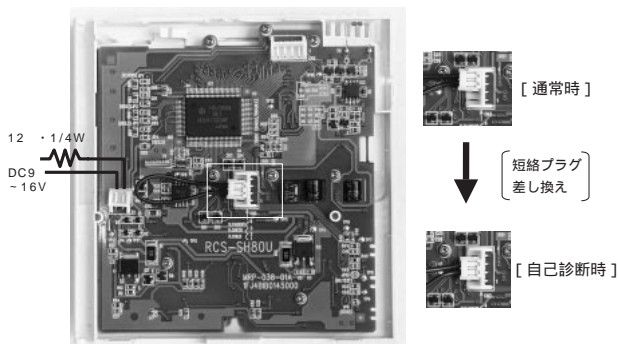
### シリアル通信チェック

短絡プラグの差し換えで、リモコン自身のシリアル通信の送受信系統のチェックをし、

正常：全ての表示が点灯 } 約10秒間表示し、その後  
異常：全ての表示が点滅 } 消えます。

### 入出力回路チェック

シリアル通信チェック(10秒間)終了後、リモコンの各スイッチを操作した時、液晶表示が対応すれば正常です。



(図-6)

## 各部品の点検

### 室内電源トランス(TR1)

室内コントロール基板上Vcc(CN75)コネクタ(4P-白)のソケット側の1-2ピン間、3-4ピン間及び5-6ピン間の電圧を調べてください。

1-2ピン間...AC12V 3-4ピン間...AC15V  
5-6ピン間...AC22V

### 室内送風機保護サーモ(49FI)

室内コントロール基板と電動機を接続するコネクタ(9P-白)のソケット側の8-9ピン間の抵抗値を調べる。0であれば正常です。

### 電子制御弁(MOV)

・室内コントロール基板上のT6(CN70)コネクタのプラグ側の5-1(~4)ピン間の電圧を調べる。(パルス出力のため、簡易的な測定方法になりますが、テスターを12Vレンジに設定し、4V位を示せば正常と判断します。)

・電圧が正常な時、室内コントロール基板と電子制御弁を接続するコネクタ(5P-白)のプラグ側の5-1(~4)ピン間の抵抗値を測定してください。5-1(~4)ピン間...すべて約46(0またははコイル交換)

### フロートスイッチ

室内コントロール基板とフロートスイッチを接続するコネクタ(2P-黒)のソケット側の1-2ピン間の抵抗値を調べる。

0であれば正常です。

## コントロール基板の判定方法

コントロール基板には、シリアル回路の送受信のチェック及びマイコンの動作をチェックする機能(自己診断機能)があります。

### チェック上のご注意

室内ユニットの電源をOFFにしてから、室内ユニットの7P端子板のU1-U2に接続された室内外操作線ははずし、U1-U2間を短絡させてください。室内コントロール基板上にあるTESTピンを短絡してから電源をいれてください。

### 1.シリアル回路のチェック

室内コントロール基板：電源LED(D80)点灯で正常。点滅で不良。

室外コントロール基板：(室外ユニットのサービス技術資料参照)

### 2.マイコンが正常であれば、下表の通りリレーが順次切替わります。

(リレーの切替わる音がすれば正常と判断します。)

### 室内コントロール基板

	出力	ON時間
動作手順	室内送風機急風(HH)	0.5秒
	室内送風機強風(H)	"
	室内送風機弱風(L)	"
	室内送風機微風(LL)	"
	ドレンポンプ	"
	加湿器	"
	運転信号	"
	一括警報出力	"
	電子制御弁A	"
	電子制御弁B	"
電子制御弁A	"	
電子制御弁B	"	